

令和 7 年 6 月 5 日

取手市議会議長

岩澤 信 殿

建設経済常任委員会

委員長 海東 一弘

委員 赤羽 直一

佐藤 隆治

所管事務調査（委員派遣）報告書

1 委員派遣年月日

令和 7 年 5 月 7 日（水曜日）午後 1 時～

2 委員派遣場所及び調査事項

新潟県長岡市（駅前のにぎわい創出について）

視察会場：アオーレ長岡 西棟 4 階 第一会議室

ミライエ長岡 西館 3 階 ミライエハウス

3 派遣委員

建設経済常任委員会委員 3 名

・委員長 海東 一弘

・委員 赤羽 直一

・委員 佐藤 隆治

4 委員派遣報告

— 長岡市について —

長岡市の概況

交通の要衝に位置している、新潟県中越地域の中心都市。

■長岡市の概要(令和 7 年 4 月)

・人口約 25.3 万人(県内 2 位)

・世帯数約 11 万世帯

・面積 891.05km²(>東京 23 区)

■市章

魅力ある地方中核都市として限なく発展する長岡市を、不撓不屈の不死鳥の姿に託して表現している。

■主要財政指標(R 5 年度)

- ・ 経常収支比率 92.6%
- ・ 財政力指数 0.59
- ・ 標準財政規模 71,576 百万円
- ・ 実質公債費比率 7.3%

■会計規模(R 7 年度)

- ・ 予算総額 2,320 億円
(うち一般会計 1,453 億円)

① 視察事項 (13 : 10~14 : 40)

駅前のにぎわい創出について (アオーレ長岡)

説明 : 市民協働推進部 市民協働課 宮島義隆 課長

- (1) 視察事項の説明
- (2) 質疑応答
- (3) アオーレ長岡見学

●「アオーレ長岡」とは？

複合公共施設。J R 長岡駅と直結。(平成 24 年 4 月 1 日オープン)

「アオーレ長岡」は、J R 長岡駅前の旧長岡市厚生会館及び周辺の公園等を含めた約 1.5ha の区域に厚生会館機能を受け継ぐ“アリーナ”、冬季でも様々な活動ができる“ナカドマ (屋根付き広場)”、“市役所本庁機能”を一体的に配置した複合施設である。

- ・ アオーレ … 長岡弁で「会いましょう」
- ・ 長岡市民 26 万人の心の拠りどころ
- ・ 人が出会い、いきいきと活動する交流の拠点
- ・ 行政機能としての市役所にとどまらず、市民自らの施設であり、一番のハレの場、都市の核

まちなか型公共サービスの核となる施設として、周辺施設との連携と波及効果が期待される「市民協働・交流の拠点」とされる。

●アオーレ長岡の理念

「市民が主役」そして「市民が成長させる」

～市民の使いやすさを徹底的に追及～

- ・ 一般利用は基本「無料」
- ・ 市民の想いを実現する N P O が運営
- ・ ルール作りに市民が参加



ルールを作らない自由度の高い運営を実現

「安く、長く、自由に、飲食も、販売も」 市民目線での運営

～5つの理念～ 26万市民の心のよりどころ

協働・交流の拠点

長岡の顔

ハレの場

合併の象徴

まちなかに溶け込む市役所

●基本コンセプト

・まちに開けた“ナカドマ”

◎誰もが気軽に立ち寄り、活動できる空間

◎様々な機能がナカドマに面する、連携が容易な配置

まちに開けた“中土間(ナカドマ)”

庭のようでも部屋のようでもあるナカドマ(屋根付き広場)は、建物中央に挟み込まれるように配置しています。誰もが気軽に立ち寄り、活動できる空間です。

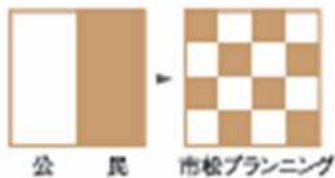


・官と民のモザイク

官民の明確な区分がなく、官民の境界が曖昧のようなイメージ
(行政と市民の活動が、市松模様のように混ざり合う)

公と民のモザイク

行政と市民の活動が、市松模様のように交ざり合っ



たデザインです。市民の皆さんが活動するすぐそばで市役所の業務が行われ、議会が開催されます。市松模様は壁面や大屋根のパターンとしても表現されています。

- ・「アオーレ長岡」は、木の質感を生かしたデザインが特徴的。
設計者の隈研吾さんは「木そのものが持つ良さを感じてほしい」と木にこだわり、内装外装ともに木製のパネルは地場産の杉の間伐材を使用。家具や壁紙には、市内で生産している栃尾紬や小国和紙を取り入れるなど、暮らしの温もりを大切にしている。
また、アリーナ内の木パネルには、旧厚生会館の緞帳（どんちょう）やフローリング材を再利用している。

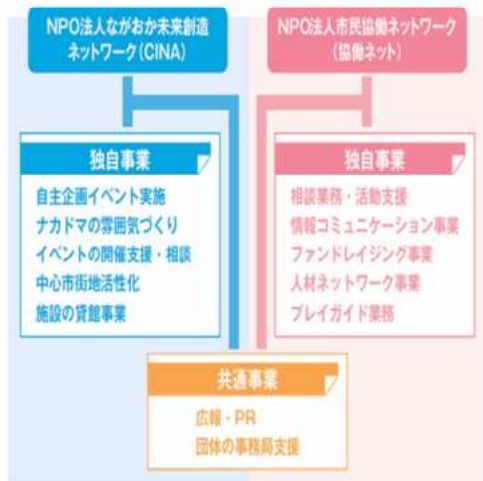


●施設の運営



ルールを作らない自由度の高い運営

「安く、長く、自由に、飲食も、販売も」市民目線での運営



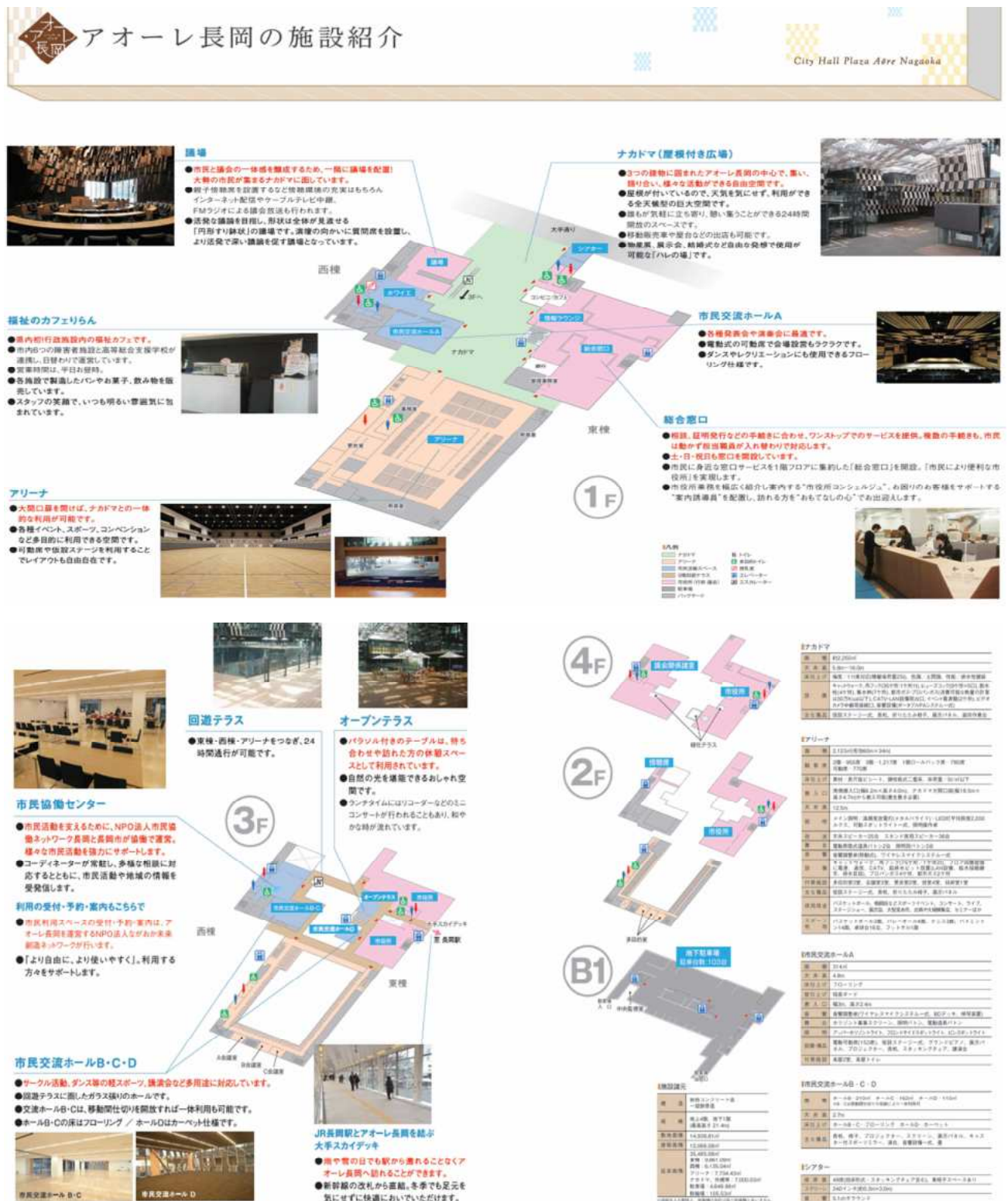
指定管理者制度ではなく市の直営でもない、それが「アオーレモデル」

- 利用する市民の視点に立ち、より自由度の高い運営を実現するために組織されました。
役員や運営スタッフも市民を中心としたメンバーで構成されています。
- 市民が知恵やアイデアをしばり、多くの意見を取り入れ、時には共に汗をかく運営スタイルです。
- 行政は、安定した運営ができるように、下支えとしてサポートします。

◆市民が使いやすい使用料と利用時間

- 「ナカドマ」「市民交流ホール」「ホワイエ」「シアター」の使用料は無料です。(一般利用の場合)
- 施設の開放時間は、午前8時から午後10時まで。ただし、ナカドマや回遊テラスは、24時間開放となります。
- 年末年始(12月29日から1月3日)を除き、1年中利用できる施設です。

●施設概要



低層型により景観インパクトを抑えた建築

設計 (株)限研吾建築都市設計事務所

施工 大成・福田・中越・池田CH建築工事JV

●市役所移転の背景とまちなか配置



全国初まちなか型市役所の実現

長岡市の旧本庁舎は様々な課題を抱え、移転の必要性がありました。

①平成16年に発生した新潟県中越大地震での被災

⇒ 防災拠点に必要な耐震性が大幅に不足していることを再認識

②3度の市町村合併を受け、本庁組織を7カ所に分散

⇒ 市民にとっても職員にとっても不便な状況



これまでの市役所の本庁機能を、まちなかの数か所に集約配置し、

多くの市民が集まりやすく利用しやすい市役所を目指しました。

アオーレ長岡を核とした“ひとの和と輪が広がる”新しい市役所＝**まちなかに溶け込む市役所**です。

※旧本庁舎は、耐震補強工事を施し、教育と健康の拠点「さいわいプラザ」として利用しています。



② 視察事項（15：00～16：30）

駅前のにぎわい創出について（ミライエ長岡）

説明：地方創生推進部 ミライエ長岡企画推進室 企画担当 鈴木武明 課長
中心市街地整備室 まちなか整備担当 殖栗俊之 課長

- （１）視察事項の説明
- （２）質疑応答
- （３）ミライエ長岡見学



1. 基本方針

「人づくり と 産業振興」を総がかりで支える地方創生の拠点

未来へつなぐ新しい米百俵一長岡の歴史や文化、まちづくりの精神で
新たな価値を創造する。



2. ミライエ長岡を目指すコンセプト

現代版「国漢学校・互尊文庫」

米百俵の精神（未来への投資） 互尊独尊（修養の場の重要性）

- ・時代の変化に対応した新しい学びや情報を得られる機能を導入し、次世代を担う若者や起業家をはじめとする幅広い世代が集い、交流することで、新しいチャレンジの機会に出会える場を目指す。

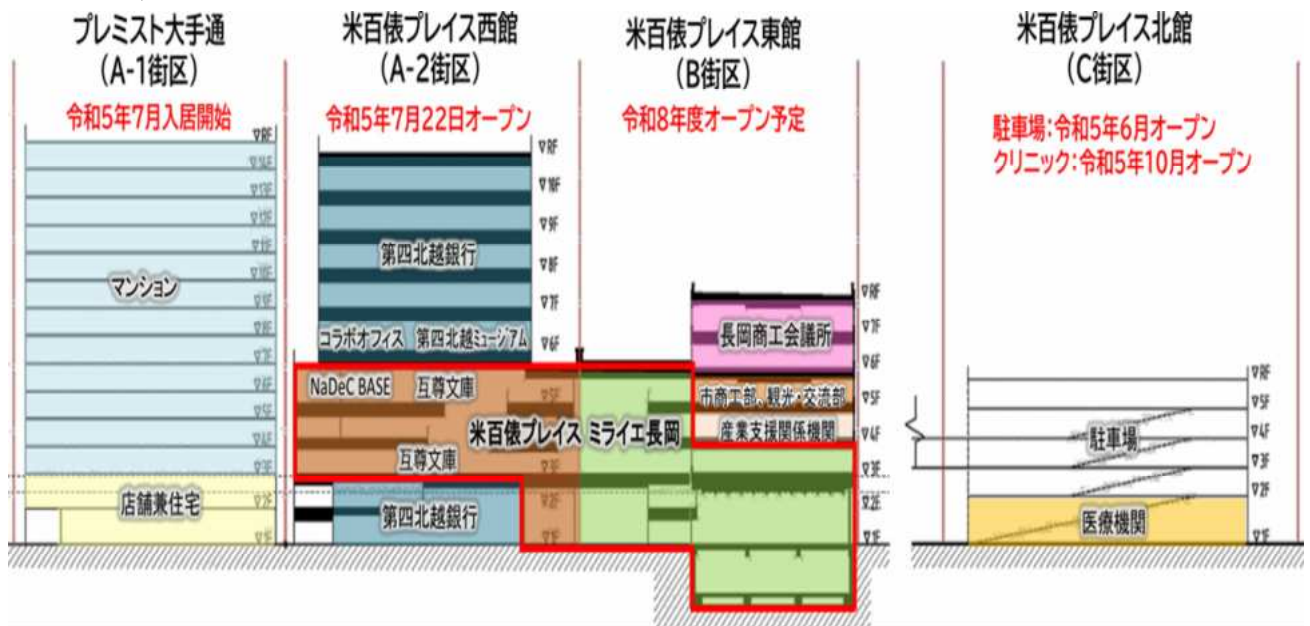
- ・当地区に根付く「人づくり・まちづくり」の考え方を踏襲し、新たな価値を創造する。

3. ミライエ長岡が担う3つの役割

人づくり・学びの場	産業づくり・交流の場	にぎわい
互尊文庫、ミライエクリエイティブキッズ、歴史人物史展示、ティーンズラボ ・まちなか(中心市街地)に相応しい、新しい図書館 ・施設内で実施するプログラムは、まちなかの既存施設の類似プログラムを整理し、実施する。	経営相談・起業支援機能、イノベーションサロン、スタジオ、ものづくりラボ、ギャラリーラボ など ・大学や産業界との交流・連携を促進することで、産業人の育成や商品・サービスの開発を促す。 ・学生や若者が起業しやすい環境を提供することで新しいビジネスの創出を促す。	トオリニワ、グランパッサージュ、屋上庭園、マルチスペース(イベントスペース)、カフェ・レストラン など ・活発な交流が生まれる付加機能 ・まちなか(中心市街地)の回遊性を高めるにぎわいを創出する。



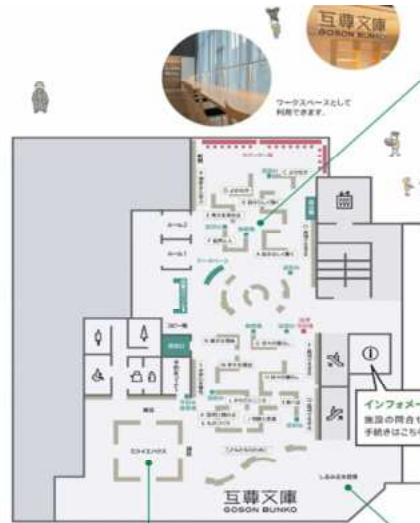
●施設配置



●フロアマップと説明

3F
互尊文庫
GOSON BUNKO

互尊文庫



しるみる米百俵



ミライエハウス

ガラス張りのスペースで、セミナーやワークショップ、交流の場として使用できます。



ミライエ クリエイティブキ

小学生の創造力を育むワークショップです。

STEP 1 meet
感じる、気づく

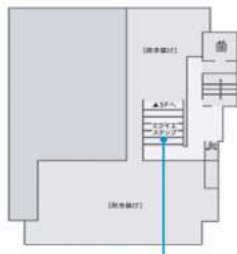
STEP 2 make
調べる、想像する、つくる

STEP 3 show
表現する

3つのSTEPで学びを深めます。
子どものアイデアの実現を支援し、
未来をよりよく生きる力を育てます。



4F



ホール、ホワイエ

主にギャラリーとして使用できます。



ミライエステップ

船形状のスペースで、270インチの大形スクリーンと天吊式のプロジェクターを備え付けています。



ものづくりラボ

3Dプリンターやレーザーカッターなどを備え、自由に試作品やオリジナル作品を作ることができます。

スタジオA・B

セミナーや講演会など、様々な用途で
使用できます。A・Bつなげて一体的な
利用も可能です。

スタジオA	定員30名	面積87㎡
スタジオB	定員30名	面積85㎡
全面使用時	定員65名	面積172㎡



5F

NaDeC BASE
互尊文庫
GOSON BUNKO

NaDeC BASE

企業人や経理系、学生、研究者など
人材が集まる場所です。
それぞれが持つ知見や発想を交流
連携、産学連携、大学連携などの
イノベーションを進め、次代に
材料と産業振興を目指します。



イノベーションサロン

産学官の連携による新規プロジェクトの創出や資料のコワーキング機能を持つスペースです。コーディネーターを配置し、産学、産産連携や起業をサポートします。

コワーキング料金
月額利用…10,000円
一時利用…2時間 500円(1日以上 2,000円)



ギャラリーラボC

産学官などが協働で行う研究開発の拠点です。長岡技術科学大学が研究機関、企業、自治体等の約40の機関と連携し、地域の課題解決に向けて研究に取り組み、その成果を発信するほか、幅広い交流を推進します。

6Fコラボレーション

スタートアップやベンチャー企業、新産業創出を進める企業の開発拠点、研究機関等が入居する貸しオフィス。NTT東日本のイノベーションラボ(事業実証、交流)も設置され、多種多様な人材との連携や交流が促される場です。



所感

ご利用者が実現させたいことなどを十分に聞き取りされ、意見集約等々をしつつ、企画・立案の段階より貴市の方でサポートやバックアップがなされていると思いました。

そのような所からご利用者や市民の皆様の思い、自由な発想などが実現されていると感じたところです。

上記のとおり報告します。